

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年08月17日

計画の名称	大府市における循環のみちの実現												
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度 (1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	大府市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	76	A	76	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)
1	下水道処理人口普及率を82.9% (H27末) から83.1% (H29末) に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 行政人口	83%	%	83%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大府市	直接	大府市	管渠（ 污水）	新設	横根処理分区	污水管 L=1,100m	大府市	■					76		—
											小計						76		
											合計						76		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大府市水道部内において実施した。

事後評価の実施時期

平成30年8月

公表の方法

大府市のホームページにて公表。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

汚水管渠を整備することにより、下水道処理人口普及率が向上し、公共用水域への負荷を軽減することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

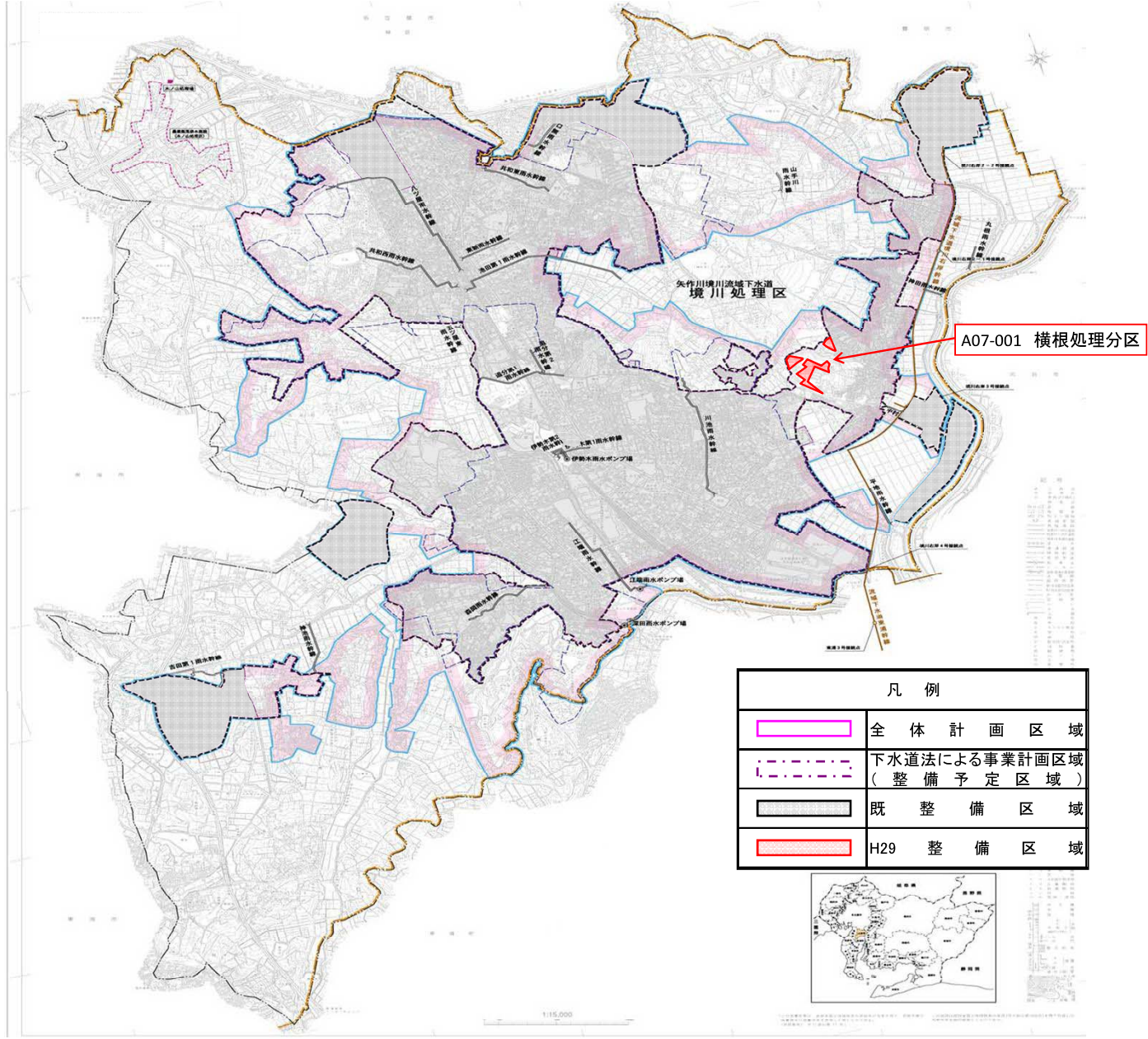
○特記事項（今後の方針等）

区画整理事業や道路拡幅などの他事業の影響で未普及となっているところがあるため、関係機関と調整しながら未普及解消を図っていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因	
1	目標値／実績値	下水道処理人口普及率（下水道を利用できる人口の割合） 目標値83.1%に対して、実績値83.4%。 [要因] 供用済区域の人口（下水道を利用できる人口）が当初予測していた数値を上回ったため、普及率が上がった。	
	最終目標値		83%
	最終実績値		83%

社会資本整備総合交付金

計画の名称	大府市における循環のみちの実現	交付対象	大府市
計画の期間	平成29年度～平成29年度（1年間）		



凡 例	
	全 体 計 画 区 域
	下水道法による事業計画区域 (整 備 予 定 区 域)
	既 整 備 区 域
	H29 整 備 区 域

